

(お知らせ) HPが新しくなりました

3月に林木育種センターと育種場のHPをリニューアルしました。

組織や業務、研究成果を紹介しておりますので、ぜひご覧下さい。

森林総合研究所の本所や支所と同じ構成・デザインになりましたので、そちらと併せてご利用になる方にも見やすくなったのではないかと思います。

今後、より利用しやすいものにしていきたいと思っておりますので、こういう情報を掲載してほしいというご要望や、これが見つけにくかったというご意見等がありましたら、HPに掲載されているお問い合わせメールまでお知らせ下さい。

林木育種センター HP

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/index.html>



小笠原の植物紹介

林木育種センターで研究・保存している植物をご紹介します。

(文責・イラスト：遺伝資源部 保存評価課 大谷雅人)

■テリハボク

学名：*Calophyllum inophyllum* 別名：ヤラボ、タマナ



アジアの熱帯地域で海岸防風林に使われる樹種としては、最もポピュラーな種類のひとつといえるでしょう。その名の通り、シックな光沢がある大変美しい葉をつけるため、あちこちで植栽されています。小笠原諸島や南西諸島の集落でも、人家の周りによく見かけます。

こうした高い需要を見込んで、当センターでも、耐風性・耐潮性に優れた品種開発に向けての研究プロジェクトが開始されました。

■オオヤマイチジク

学名：*Ficus iidaiana*



小笠原諸島に分布しているイチジクの仲間では最も珍しい種類で、幅の広い卵形の葉が特徴です。母島の山奥の深い林の中に少数の個体が残っているだけなので、事前情報なしで観察できたらなかなかの幸運だといえるでしょう。

母島の桑の木山の試験地には、当センターと関東森林管理局によって現地の個体から育成された実生苗が定植されています。



※紙ヘリサイクル可

林木育種情報 No.13

平成 25年 7月 12日発行

独立行政法人 森林総合研究所 林木育種センター
〒 319-1301 茨城県日立市十王町伊勢 3809-1

TEL : 0294-39-7000(代)

FAX : 0294-39-7306

ホームページ : <http://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/index.html>